



CQM(超短期経済予測モデル)

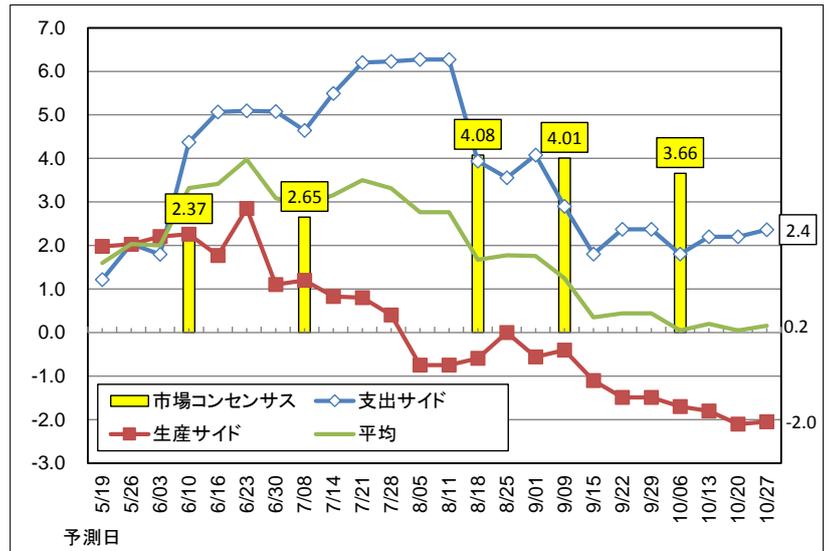
稲田義久 (APIR 数量経済分析センター長)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

日本経済(週次)予測(2014年10月27日)

ポイント

- ▶今週予測で更新されたデータは、9月の貿易統計で、純輸出の予測値に影響を与える。
- ▶9月の貿易収支(季節調整値)は43カ月連続の赤字となり前月比+17.3%増加。3カ月ぶりの拡大。結果、7-9月期の貿易赤字は前期比+7.1%増加し、2期ぶりの拡大となった。
- ▶名目財貨・サービス輸出、輸入の予測値は先週からともに上方修正されたが、輸入の修正幅が輸出のそれを上回ったため、7-9月期の名目純輸出の予測値は先週から下方修正された。しかし、交易条件は前期から悪化したため実質純輸出の予測値は幾分上方修正。
- ▶結果、今週の支出サイドモデルは、7-9月期の実質 GDP 成長率を前期比年率+2.4%と予測。先週から小幅上方修正。純輸出の予測値が先週から上方修正されたためである。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率
2014年7-9月期(%, 前期比年率換算)



<7-9月期の名目純輸出は前期比悪化も実質純輸出は幾分改善>

先週(10/20-24)に更新されたデータは、9月の貿易統計、8月の全産業活動指数、旅行取扱額及び景気動向指数(改訂値)である。これらのデータは、純輸出の予測値に影響を与える。

9月の貿易収支は-9,583億円と27カ月連続の赤字となり、前年比+1.6%拡大した。季節調整値は43カ月連続の赤字となり、前月比+17.3%増加した。3カ月ぶりのプラス。結果、7-9月期の貿易赤字は前期比+7.1%増加し、2期ぶりに拡大した。

9月の輸出は前月比+3.1%と4カ月連続のプラス。輸入も同+5.0%と2カ月ぶりのプラスとなった。結果、7-9月期の輸出は前期比+3.9%増加し(3期ぶりのプラス)、輸入も同+4.3%増加した(2期ぶりのプラス)。

名目財貨・サービス輸出、輸入の予測値は先週からともに上方修正されたが、輸入の修正幅が輸出の修正幅を上回ったため、7-9月期の名目純輸出の予測値は先週から下方修正された(-14,580兆円→-14,747兆円)。しかし、同期の交易条件は前期から悪化したため実質純輸出の予測値は幾分上方修正された(10,296兆円→10,446兆円)。

結果、今週の支出サイドモデルは、7-9月期の実質 GDP 成長率を前期比+0.6%、同年率+2.4%と予測。先週の予測(+2.2%)から小幅上方修正となった。純輸出の予測値が先週から上方修正されたためである。7-9月期は内需が拡大に転じる(前期比+0.5%)。うち、公的需要の寄与度(同+0.3%)は民間需要のそれ(同+0.2%)を上回る。一方、純輸出は小幅拡大にとどまる(同+0.1%)。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690